

特集

まちいっぱい広がる 古関メロディー

古関裕而
のまち 福島市

本市の名誉市民第一号である作曲家の古関裕而さんをモデルとした連続テレビ小説「エール」が放映中です。

官民協働による、古関さんと古関メロディーを活かした新しいまちづくり事業が、市全体へ広がりを見せています。今回はその中から一部を紹介します。

10月8日に来場者1万人達成

「エール」のセットが福島に！

喫茶「バンブー」

古関裕而記念館の隣に連続テレビ小説「エール」に登場する喫茶「バンブー」のセットを再現。

ドラマ内で使用した小道具や、ドラマの紹介パネルの展示のほか、オリジナルビデオメッセージを放映しています。



駅前通り～レンガ通りに 古関裕而があふれる

古関裕而ストリート

駅前通りからレンガ通りを「古関裕而ストリート」と名付け、サイン看板を設置しました。ストリートには生誕の地記念碑や、デザインマンホールがあり、まち歩きにうってつけ！

11月中には古関メロディーが流れるメロディーボックスが新たに2カ所でき、さらに魅力を増していきます。

楽曲など詳しくはP6をご覧ください。

街なかに蓄音機？



デザインマンホール ・ます蓋

古関裕而さんをデザインしたマンホールを古関裕而ストリートに、古関メロディーをイメージした「ます蓋」をまちなか青春館前にそれぞれ設置しました。



▲福島養護学校生徒がデザインしたます蓋

QRコードから
古関裕而さん
情報をゲット！

移動音楽館が 街なかを走る！

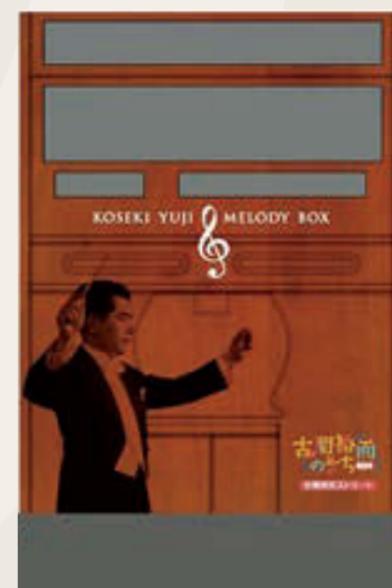
古関裕而 メロディーバス

移動音楽館をコンセプトとした「古関裕而メロディーバス」が、古関裕而ストリートや古関裕而記念館などを巡ります。

内装には県内産の木材を使用しており、温かい雰囲気を感じていただけます。発着時や走行中に流れる古関メロディーをぜひお楽しみください！



バスの中には
隠れもりんも



▲古関裕而メロディーボックスのイメージ